

1. 科目名 (単位数)	日本語学演習 I (文法・文体) (2単位)	3. 科目番号	EJJP3324
2. 授業担当教員	村松 喜久子		
4. 授業形態	講義、演習、グループ討議等	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	「日本語学Ⅲ(文法・文体)」を必ず受講しておくこと。		
7. 講義概要	日本語教育では、日本語の文法・文体に関する知識を理解していることが重要である。そこで、「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「初等・中等教育で用いられる国文法(学校文法)」の違いを認識しつつ、外国語として捉えた日本語の文法・文体についてさらに知識を深める。また、授業を通して学んだ知識を、日本語を教える際にどのように応用すればよいか考える。		
8. 学習目標	1. 「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「国文法」の専門用語の違いが理解できる。 2. 日本語の文法・文体における特徴や規則について基礎的な知識が説明できる。 3. 日本語の文法・文体について日本語教育でどのように教えるとよいか考えることができる。		
9. アサシメント(宿題)及びレポート課題	毎回、授業で習った項目のワークシートまたは予習課題を配布するので、期日までに提出する。必ず、期日を守り提出すること。 予習課題 ・各課の基本文型の教え方を考える。 ポイント ・初級でテンス・アスペクトはどう教えられているか。 ・初級で格助詞はどう教えられているか。 ・その他(授受表現、副詞、形容詞など)		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】中西久美子他著『使える日本語文法ガイドブック やさしい日本語で教室と文法をつなぐ』ひつじ書房、2020。 【参考書】高見沢孟[他]『新・はじめての日本語教育1』アスク、2016。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. 「日本語教育で用いられる日本語の文法」と「国文法」の違いが理解できたか。 2. 日本語の文法・文体における特徴や規則について基礎的な知識を説明できるようになったか。 3. 日本語の文法・文体をどう教えるとよいか考えられたか。 ○評定の方法 以下の点を総合して評価する 1 授業への参加態度 総合点の30% 2 課題(ワークシート、発表等) 総合点の30% 3 提出課題(レポート等) 総合点の40% 上記の他に、本学の規定に定められている3/4以上の出席が単位の修得の条件であることも配慮した。		
12. 受講生へのメッセージ	みなさんが学んだ日本語文法が初級でどのように教えられているのかを、教える立場から考え直す。みなさんの経験を基に、教える時のわかりやすい説明を考えよう。		
13. オフィスアワー	初回授業時に知らせる。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	授業概要、文法指導の流れを確認する	事前学習	日本語文法を教える順序を確認しておく。
		事後学習	用意した教科書について目次を見る。
第2回	動詞について	事前学習	動詞について復習しておく。
		事後学習	動詞について考える。
第3回	動詞の音便について	事前学習	動詞の音便について目的や特徴を考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第4回	指示代名詞について	事前学習	指示代名詞の特徴を調べる。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第5回	主格や方向をあらわす助詞について	事前学習	助詞について目的や特徴を考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第6回	複合動詞について	事前学習	複合動詞について目的や特徴を考える
		事後学習	ワークシートに記入する。
第7回	形容詞について	事前学習	形容詞について目的や特徴を考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第8回	形容詞についてグループ発表とディスカッション	事前学習	担当した文法についての発表準備をする。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第9回	存在文について	事前学習	存在文について目的や特徴を考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第10回	存在文についてグループ発表とディスカッション	事前学習	担当した文法についての発表準備をする。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第11回	て形について	事前学習	て形について目的や特徴を考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第12回	て形についてグループ発表とディスカッション	事前学習	担当した文法についての発表準備をする。
		事後学習	ワークシートに記入する。

第13回	誤用研究について	事前学習	誤用研究について目的や特徴を考える。
		事後学習	ワークシートに記入する。
第14回	初級の誤用についてグループ発表とディスカッション	事前学習	担当した文法についての発表準備をする。
		事後学習	発表内容を見直す。
第15回	誤用に対する授業での対応について発表	事前学習	誤用対応を復習する。
		事後学習	クラスの発表をそれぞれ評価する。